

# 7. Wi-Fiサービスの拡充によるシームレスなブロードバンド環境の提供

- 光ポータブル本体に加え、クレードルにWi-Fi機能を搭載した新型「光ポータブル」をH23.2Qに提供予定。これにより、光ポータブル本体を持出した時でも、宅内で無線LANの利用が可能。
- 日常の生活動線をカバーするWi-Fi環境の構築に向け、光回線を設置したコンビニエンスストア等の事業者とコラボレーションする新たなスキームにより、アクセスポイント50,000ヶ所への拡大を目指す(H24年度末予定)。
- 災害時は、情報ステーションとして活用することを可能とする。

宅内

## 宅内環境の充実

外出先

## フレッツ・スポットエリアの拡大

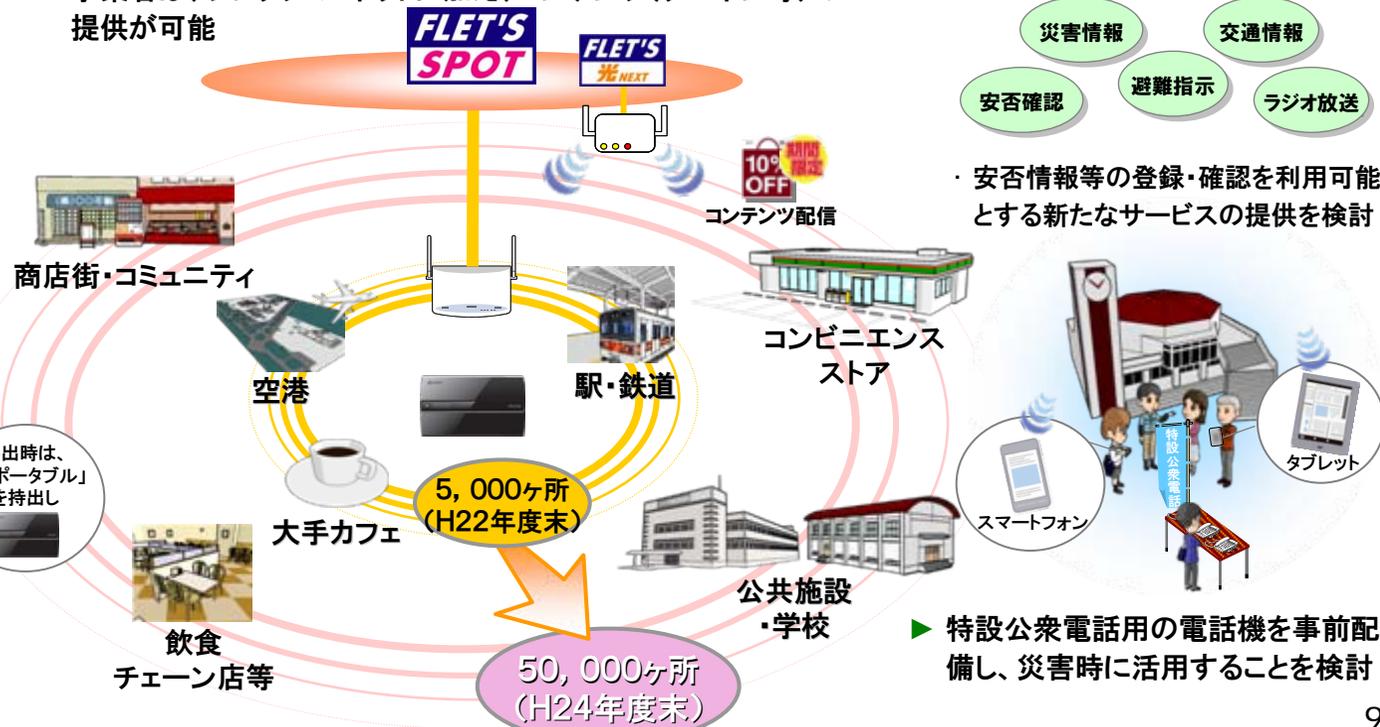
災害時

## 情報ステーション化

- ▶ 新型「光ポータブル」は、Wi-Fi機能付クレードルを標準装備。本体持出し時も、Wi-Fi環境を利用可能
- ▶ 高速無線規格「IEEE 802.11n」に対応

- ▶ コンビニエンスストア等の集客効果を高めたい事業者や公共施設等に対し、フレッツ光回線を活用し品質の高いWi-Fi環境の構築を推進
- ▶ 事業者は、フレッツ・スポットに加え、コンテンツ(クーポン等)の提供が可能

- ▶ 災害時にはインターネット接続が可能な「情報ステーション」としてWi-Fi環境を開放



- ▶ 特設公衆電話用の電話機を事前配備し、災害時に活用することを検討